

リバイバル・ブルース (2003)

REVIVAL BLUES

メディア 映画

ジャンル ドラマ 音楽

製作国 日本／カナダ

色彩 Color

時間 114分

初公開日 2004/10/09

公開情報 エレファント・ピクチャー

映倫 R-15

【キャッチコピー】

生きることに
熱中してますか？

あれから26年、
止まった“青春の鼓動”が
ゆっくりと息を吹き返す…

【解説】

26年ぶりのバンド再結成を通して明らかになる中年となったメンバーそれぞれの間模様を描いた日本、カナダ合作ドラマ。バンド解散後、別々の道を歩んできた中年男女が、26年ぶりの再結成を機に大人の友情を深めるとともに、厳しい現実と直面し改めて自らの人生を見つめ直していく。監督は「Keiko」のクロード・ガニオン。

1970年代、ひとつのブルース・バンドが解散した。女はゴールデン街に姿を消し、男の一人は沖縄へ逃避した。そしてもう一人は企業戦士になった。26年後、会社の出張で沖縄にやって来た健は、かつてのバンド仲間、洋介の店を訪ねる。迷惑そうな洋介に健は、もう一度バンドをやろうと持ちかける。そんな健の目の前で急に倒れる洋介。彼は末期ガンに冒されていた。医者から余命数ヶ月と宣告された洋介は、健の誘いを受け入れ上京する。そして、バンドのボーカルだった加代の経営する新宿の小さなバーにかつての仲間が再び集い、いよいよ復活ライブにむけたリハーサルが始まる。

【クレジット】

| | | |
|---------|--------------|-----------------------|
| 監督 | クロード・ガニオン | Claude Gagnon |
| プロデューサー | 奥田瑛二 | |
| | ユリ・ヨシムラ＝ガニオン | Yuri Yoshimura-Gagnon |
| | サミュエル・ガニオン | Samuel Gagnon |
| 脚本 | クロード・ガニオン | Claude Gagnon |
| 撮影 | クロード・ガニオン | Claude Gagnon |
| 美術 | 青池良輔 | |
| 編集 | クロード・ガニオン | Claude Gagnon |
| 音楽 | 塩次伸二 | |
| 照明 | 桜井雅章 | |
| 録音 | 川嶋一義 | |
| 助監督 | 山田智之 | |
| 出演 | 内藤剛志 | 健 |

| | | |
|-----------|---------------|----|
| 奥田瑛二 | | 洋介 |
| 桃井かおり | Kaori Momoi | 加代 |
| 渡辺ほなみ | | 静香 |
| 久保京子 | | 恵子 |
| 野村麻紀 | | 有紀 |
| ミッキー・カーチス | Mickey Curtis | 沢田 |